

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018年 6月 8日作成

<p>研究課題名</p>	<p>大学病院における周術期抗菌薬使用の実態調査</p>
<p>研究の対象</p>	<p>2018年9月3日から 2018年12月14日までの連続した4週間に行われた 18 の予定手術*を調査します。これらの手術が行われた方で、全身状態がよく、腎障害がない方を対象とし、手術毎に3人の方を調査します。</p> <p>*予定手術（開頭腫瘍摘出術、扁桃摘出術、冠動脈バイパス術、心臓バイパス埋入術、ステントグラフト内挿術、肺切除術、幽門側胃切除術、腹腔鏡下胆嚢摘出術、帝王切開術、腹式子宮全摘術、乳腺手術、経尿道的膀胱切除術、腎摘出術・腎部分切除術、人工関節置換術、関節鏡手術、抜歯術、結腸切除術、白内障手術）</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>手術の前後に抗生物質（抗菌薬）を投与することは、手術に関連した感染症（術創感染症・SSI と呼びます）の発生を減らすことが知られています。どのような抗菌薬を投与するかは世界各国、また日本の各学会等が作成したガイドライン等でおおよそ示されていますが、実際にどのように投与するか、各医療施設にゆだねられています。反面、昨今では抗菌薬の効きにくい薬剤耐性菌の出現が脅威となっており、適切な抗菌薬を短期間で使用することが大切になっています。そこで、日本の臨床現場でどのような抗菌薬が手術の前後で投与されているか全国的な調査を行い、より適切な抗菌薬の選択、より適した採用薬の検討をするための基礎データが得られるものと考えます。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2018年 5月 28日（承認日） ～ 西暦 2020年 12月 31日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の 種類</p>	<p>背景情報：年齢、性別、術前の全身状態指標、体重等 治療に関する情報：術前・術中の使用抗菌薬、抗菌薬投与のタイミング、術後の使用抗菌薬、投与期間等</p>
<p>外部への 試料・情報の 提供</p>	<p>名古屋大学附属病院中央感染制御部へ情報を提供します。氏名、生年月日、カルテ ID 等ご本人を特定できる情報は削除し、（電子ファイルにパスワードをかけて提出し）、特定の関係者以外が情報にアクセスできないようにします。個人情報には本学でも名古屋大学でも厳重に管理されます。</p>
<p>外部からの 試料・情報の 取得と保管</p>	<p>外部からの情報収集はありません。</p>

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学 八木 哲也 共同研究機関：横浜市立大学附属病院 感染制御部 加藤 英明 広島大学病院 感染症科 大毛 宏喜 奈良県立医科大学 感染症センター 笠原 敬 その他、国公立大学附属病院感染対策協議会参加施設のうち、本研究に参加を希望する施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 感染制御部 （研究責任者）加藤 英明 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-3444（医学部血液免疫感染症内科）</p>	